二〇一五年四月一七日

石楠花の梢洩る日に開きそむ　あさこ
石仏に十二単の花ざかり　満天
ぶらんこやベンチに二つランドセル　宏虎
春耕の鍬を杖とし腰伸ばす　三刀
高枝に鈴振るごとく囀れる　さつき
鶯に励まされては畑仕事　よし女
教はりし秘密の場所の蕨つむ　さつき

二〇一五年四月一六日

朝堀と札筍の宅急便　ともえ

二〇一五年四月一五日

美容師の鋏の音に春眠し　満天

二〇一五年四月一四日

遠足のリュックを山と積むベンチ　さつき
春雨に烟るりんくうタウンかな　菜々
西行坂たたみにたたむ落花かな　よし子
土手下る膝がかくりと花疲れ　豆狸

二〇一五年四月一三日

段ボール屑もかりだす花筵　さつき
膝浅く予後を見舞ひし春炬燵　よし子
竹秋の藪大空を掃きやまず　明日香

二〇一五年四月一二日

山あひの高速高架落花舞ふ　ぽんこ
猫うららヨガのポーズに毛づくろひ　うつぎ
花の下鹿が小突きし旅鞄　なつき
バス停をひとつとばして青き踏む　豆狸
相互ひ支へあひつつ花堤　こすもす

二〇一五年四月一一日

ありなしの風に急かるる落花かな　さつき
建学の一碑たちたる花の門　豆狸
うららかや春日野に鹿療養所　はく子
紅さして解けし牡丹の蕾かな　三刀
分かれ道こちらこちらと囀れる　なつき
鳥帰るＶ字Ｖ字に棹なして　さつき

毎日句会みのる選・二〇一五年四月一九日